

28CG-am05

Excel ファイルを用いた経口抗がん剤薬歴管理システムの構築

○遠藤 かおり¹, 東 加奈子¹, 金子 亜希子¹, 佐藤 由里子¹, 大里 洋一¹,
鮎原 秀明¹, 兼平 富美子¹, 清水 瞳¹, 中村 薫¹, 明石 貴雄¹(¹東京医大薬)

【はじめに】近年、化学療法の治療形態は注射剤のみならず、簡便性や利便性に勝る経口治療も増加してきている。しかしながら、経口抗がん剤の投与量は治療レジメンで異なり、複雑なものが多いため、薬歴管理は重要であると考えられる。当院では、2007年11月より、経口抗がん剤の薬歴管理を行っているので、その報告をする。

【方法】院内処方 of TS-1、ゼローダ、UFT/ユーゼル、スーテントの4薬剤について Excel ファイルを用いて処方管理できるシステムを構築した。入力項目としては投与量（一部選択形式）、投与方法（一部選択形式）、処方日数、服用開始日とした。また、服用開始日及び処方日数を入力すると服用終了日、休薬期間が自動的に計算されるように設定した。

【結果】Excel ファイルを用いて経口抗がん剤の薬歴管理を行うことにより、休薬が不十分であった症例、レジメン間違い症例、また過量投与などのリスクを回避することができた。

【考察】Excel ファイルを用いて経口抗がん剤の薬歴管理を行うことにより、休薬期間、服用終了日や投与量の確認など、調剤時の処方監査が簡便になったと考えられる。また、紙媒体とは異なり、経口抗がん剤の管理が一元化でき、情報整理ができた。今後の課題としては、院内処方だけでなく、院外処方の管理も行うこと、また患者のアドヒアランスを確認することである。